

Rotary 関ロータリークラブ

2020～2021年度国際ロータリーテーマ

ロータリーは機会の扉を開く Rotary Opens Opportunities

RI会長：ホルガー・クナーク

関ロータリークラブ会長テーマ

志～奉仕の理想を高さ志で実践しよう

55代会長：木村 聡

「関の刃物」は700余年の歴史を誇り、「折れず、曲がらず、良く切れる」関鍛冶の伝統を受け継いでいます。

会長 木村 聡
副会長 加藤 照彦
幹事 酒向 徳享

D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT



本日のプログラム 第 2583 例会 2020 年 10 月 20 日 (火)

「リアル M&A 詐欺」 伊佐治啓司会員



ロータリーは機会の扉を開く

前例会の記録・第 2582 回 10 月 13 日(火)12:30

「出席表彰・健康診断」

◆開会点鐘

◆会長挨拶 木村聡



本日は藤井先生、今峰先生、真鍋先生による健康診断です。ゴルフと同じで高い数字が勝ちというものではありませんので、呉々も間違った競い合いはしないようお願い申し上げます。

さて本日は、私が成人前の人生で出会った大切にしている言葉についてお話をさせていただきます。まず一つ目は、

小学校 5.6 年生の時、恩師がクラスの教え子に色紙に書いて伝えてくれた「和而不同」という言葉です。出典は中国の「論語」で、「子曰く、君子は和して同ぜず。小人は同じて和せず。」という文章の前半部分で、現代語訳としましては「立派な人物は人と協調はするが、人に媚びたり流されたりはしない。つまらない人物は人に媚びたり流されたりはするが、人と協調することはない。」という意味です。よくもこんな小難しい言葉を小学生に伝えたものだなと今でも驚きますが、その分妙に心に残るものがあり、今でも折に触れ思い起こします。この先生は、私の生涯でお世話になった先生方の中から特に 3 人を恩師として挙げると言われれば、何の迷いも無く選択させて頂くであろう方です。大変手間のかかるユニークな教育をなさる方で、恐らく現在の教育現場では、先生の熱意と教育環境から推測すると、とても実行できないだろうなと思っています。小学校という人間形成の初期に、このような先生に出会えたことは、私にとって大変幸せなことだったと感謝しています。続いては高校の校訓であった「質実剛健」「勤勉力行」「報恩感謝」の 3 つです。「質実剛健」は、「実」のある豊かな人生を結実させるためには、質の高い人間性、強く柔軟な精神力、健康な身体を持った人間であらねばならない。「勤勉力行」は、高い理想の実現に向かって、強固な意志を持ち、ひたむきに努力を続ける、行動力のある人間

であらねばならない。「報恩感謝」は、社会の発展が個人の幸福を保障し、個人の向上が社会の発展に貢献する。人間と人間のつながりを大切にし、人々のために努力する感性豊かな人間であらねばならない。との意で、高校生の時にこれを強く意識できていれば、もう少し立派な人間になれたのかも？と思いますが、若い頃にはあまり深く考えることができず、長じてからようやく大切な言葉なんだろうと強く意識するようになりました。いずれも生涯ずっと心がけていきたいと思っていますが、自分が年を経るにつれ、3 つ目の「報恩感謝」を強く意識するようになってきています。以前お話しさせて頂いた「与えられる人から与える人へ」、そして「より多くの人により多くのものを与えられるようになりたい。未だに自分の周りのわずかな人達にわずかなものしか与えることができず、自分たちが生きていくのにあくせくしている現状ではありますが、関ロータリーの仲間と接している範囲だけでも、既にこれらをより高い次元で実行してみえる方々を目の当たりにし、大変良い刺激を受けています。「志」を高く掲げて、少しでもそれに近づく努力をしていけるように、これらの「言葉」を大切にしていきたいと思います。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員長 塚原清文

会員 50 名中 出席 28 名 出席率 56.00%

◎ニコボックス委員会 委員長 山田一成

会長・副会長・幹事・・・本日は出席表彰、健康診断です。健康であるから例会にも出席できます。藤井先生、今峰先生、真鍋先生、メンバーが健康で過ごせるよう、村度なく検査をよろしくお願ひします。

林隆一、杉浦孝志、長尾一郎、林昇、三輪雄彦、加藤浩二、臼田龍司、塚原清文、大澤竜一、山田一成、粟倉晋吾、秋栢達也会員の皆さん・・・今峰先生、藤井先生、真鍋先生、本日の健康診断よろしくお願ひします。

◆「出席表彰」

| | | | |
|----|-------|-----|------|
| 1年 | 臼田龍司 | 10年 | 木村聡 |
| 1年 | 西田泰幸 | 10年 | 加藤浩二 |
| 1年 | 粟倉晋吾 | 10年 | 後藤信介 |
| 2年 | 山田一成 | 12年 | 藤井淳 |
| 3年 | 加藤照彦 | 14年 | 土屋佳久 |
| 3年 | 福田春彦 | 16年 | 長尾一郎 |
| 3年 | 伊佐地啓司 | 18年 | 酒井泉 |
| 4年 | 尾崎嘉彦 | 23年 | 堀部哲夫 |
| 4年 | 酒向徳享 | 25年 | 杉浦孝志 |
| 8年 | 林昇 | 28年 | 林隆一 |



方はいませんでした。空腹時の方で110以上の方、食後で140以上の方は境界型の可能性があり注意が必要で

す。後日血糖値の再検や、血糖値の1~2か月の平均をみる事ができるヘモグロビンA1cの測定を受けることをお勧めします。

さて糖尿病になると何が問題なのでしょう。血糖値が高くなると病名の通り尿に糖が出るようになりますが、これは問題の本質ではありません。最も問題なのは、血糖値が高い状態が続くことで動脈硬化が進んで血管がぼろぼろになってしまうことです。眼の網膜の血管が傷むと糖尿病性網膜症を発症し、場合により失明に至ります（失明の原因の第二位）。腎臓の血管が傷むと糖尿病性腎症を発症し、腎臓の機能が低下し、ひどくなると透析が必要となります（透析導入の原因の第一位）。脳の血管が傷めば脳梗塞、心臓の血管が傷めば心筋梗塞の発症に至ります。いずれも後遺症が残ったり致命的となりうる疾患です。糖尿病は血管の病気とも言えます。

血糖が高くても、よほどの高血糖でない限り、自覚症状はありません。ですので、自分は症状がないから大丈夫だということにはなりません。全く健診を受けていなかった方が脳梗塞や心筋梗塞で入院され、入院中の検査で糖尿病と診断されたという例も少なくありません。自覚症状の有無にかかわらず、必ず毎年健診で血糖を測定されることをお勧めします。血糖のことに限らず、お体のことで気になることがありましたら、気軽にご相談ください。

◆幹事報告

◎地区会員増強委員会より会員増強バッジ拝受

◆10月ゴルフ会

日時：2020年10月14日（水）

場所：岐阜関カントリー倶楽部 西コース

優勝：大澤竜一会員



25年皆出席 杉浦孝志会員

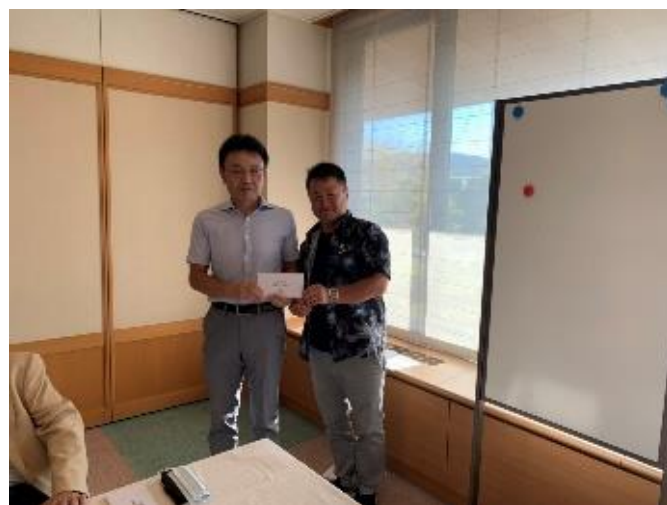


28年皆出席 林隆一会員

◆「健康診断・血糖値検査」 真鍋孔透会員

健康診断として、例会に出席された会員のみなさまの血糖測定を実施しました。血糖値は空腹時は109までが正常、110~125が境界型、126以上が糖尿病型であり、食後については139までが正常、140~199が境界型、200以上が糖尿病型となります（厳密には75gのブドウ糖を摂取した2時間後の血糖値での判定となります）。現在、新型コロナウイルス感染防止のため例会中の食事が中止となっており、今回は昼食前の測定となった方が多かったと思います。朝食をとらなかった方は空腹時の血糖となります。朝食をとった方は朝食が7時とすると食後約6時間の血糖となります。例会前に何か食べられた方は食後すぐの血糖となります。

今回20名の血糖測定を実施し、測定結果は、80台が1名、90~99が6名、100~109が5名、110~119が7名、140台が1名でした。140台の方はジュースを飲まれたあとでした。測定条件が個々で違いましたが、空腹時、食後いずれにしても糖尿病型の



次例会の予定 10月27日（火）12:30
「災害への対応について」
中部電力パワーグリッド（株）関営業所
所長 森真一様